



演歌 里のさざんか 令和三年十月十六日

作詞 大中臣正比呂

君待ちて 山に寂しき 赤き花

立てば冷たし 通い路に

風も泣きそふな顔をして

冬枯れ未だし 里の山茶花

来ぬ人を 思えば心 春差して

立てば温もり 通い路に

雨もやわらぎ霧となる

冬枯れ未だし 里の山茶花